



# 第3章 基本計画

【後期】

2018年度(平成30年度)～2021年度(平成33年度)



# 基本計画の体系

基本計画（後期）は、基本構想に定めた将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ（年度）までに、市民・地域・事業者・関係機関・行政が協働して取り組むまちづくりの方向のための取り組みの方向性（こんなことに取り組みます！）を35本掲げます。

| 都市像                                | 基本目標                                     | 目標   | こんなことに                                 |
|------------------------------------|--|--|--|
| 思いやり<br>支え合い<br>手と手をつなぐ<br>大家族たかしま | Ⅰ<br>みんなで考え<br>みんなで汗かき<br>みんなの<br>まちを創ろう | <b>(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくり</b> |  |
|                                    |  |  | ☆市民と行政がお互いの考えを理解できるよう、積極               |
|                                    |  |  | ☆市民・地域・行政が得意分野を活かし、それぞれの               |
|                                    |  |  | ☆職員のワークライフバランスを考えた「働き方」改               |
|                                    |  |  |  |
|                                    |  | <b>(2) 将来を見据えた健全な財政運営を行います</b>             |  |
|                                    |  |  | ☆市の財政運営や税金に関する情報など、市民の知り               |
|                                    |  |  | ☆工業用地の創出、市税徴収力の強化、受益者負担の適              |
|                                    |  |  | ☆公共施設の再編や長寿命化に対する市民の理解を                |
|                                    |  | Ⅱ<br>学び合い<br>力を合わせて<br>豊かな未来を<br>育もう       | <b>(3) 学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます</b> |
|                                    |  |  | ☆市民とともにまちの魅力・自慢（歴史・文化・伝統・              |
|                                    |  |  | ☆市民（特に子ども・若者）の「知りたい」「やって               |
|                                    |  |  | ☆「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」気               |
|                                    |  |  |  |
|                                    |  | <b>(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます</b> |  |
|                                    |  |  | ☆異校種間連携事業で、自分や周りのよさに気づいたり、             |
|                                    |  |  | ☆高浜カリキュラムで、高浜の人・もの・ことを活か               |
|                                    |  |  | ☆高浜カリキュラム教科版で、優れた授業実践案を集約・             |
|                                    |  |  | ☆支援の必要な児童生徒の「特別支援ファイル」の作成と引き継ぎ         |
|                                    |  | <b>(5) 子育て・子育てを支える環境を整えます</b>              |  |
|                                    |  |  | ☆「高浜市子ども・子育て支援事業計画」に沿って、               |
|                                    |  |  | ☆子どもの想いを理解し、子どもの視点に立って、子               |
|                                    |  |  | ☆身近な場所に、子どもの自主性・社会性をはぐくめ               |

大家族たかはま」を実現するため、2018年度（平成30年度）から2021年度（平成33年度）までの目標を示すものです。目指すべき姿（個別目標）を11目標、目標値や目標を達成する

|   |
|---|
| <b>取り組みます！</b>  |
| <b>まず</b>   |
| 的な情報発信を行うとともに、対話の場をつくります。   |
| ステージで自分たちのできる“まちづくり”に取り組んでいくための環境づくりを進めます。                            |
| 革と、職員が地域に関わる“きっかけづくり”から“課題発見・解決”まで段階に応じた成長支援を行います。                    |
|   |
| たい財政情報を積極的にわかりやすく発信します。   |
| 正化など、財源の確保に努めるとともに、真に必要な事業を見極め、限りある財源のより効率的・効果的な活用に取り組みます。            |
| 高めるとともに、順次、個別施設計画を策定し、公共施設総合管理計画の着実な推進につなげます。                         |
|   |
| 産業・景観など）を掘り起こし、守り、伝え、活かしていく活動を強化します。                                  |
| みたい」「役立ちたい」を応援し、市民同士が学び合い、高め合う場づくりを進めます。                              |
| 軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションの機会をつくり、市民交流の場を充実します。                              |
|   |
| よさを活かしたりできるよう、支援します。また、異校種参観で教師力を向上させ、子どものよさを引き出す指導を展開します。            |
| した教育を実践します。また、活用型のカレンダーを使って「高浜市が育てていきたい子どもの姿」を周知します。                  |
| 活用したり、ICTを活用した授業や、高浜版プログラミング教育を実践したりして、主体的・対話的で深い学びを支援します。            |
| を確実に行うシステムを構築します。また、教職員の特別支援教育への理解をより深めるとともに、指導力・実践力の向上をめざした研修を充実します。 |
|   |
| 多様で柔軟な保育サービスの提供など、教育・保育ニーズに対応し、待機児童ゼロをめざします。                          |
| 育ち・子育てを支える大人を増やしていきます。  |
| るよう、自然に世代間や異年齢交流などができる場を増やしていきます。                                     |

| 都市像  | 基本目標  | 目標   | こんなことに  |
|--|---|--|---|
| <b>思いやり<br/>支え合い<br/>手と手をつなぐ<br/>大家族たかほま</b> | <b>Ⅲ</b><br><b>明日を<br/>生み出す<br/>エネルギー<br/>やる気を<br/>活かせる<br/>まちをつくらう</b> | (6) 産業を活性化して、まちを元気にします   |   |
|  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆農地とのバランスを考慮しつつ新たな工業用地を</li> <li>☆災害による風評被害の払しょくや伝統性を活かした商品開発</li> <li>☆高浜高校SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）</li> <li>☆高浜市観光協会や関連団体が行うイベントや高浜</li> </ul> |
|  |   | (7) みんなでまちをきれいにします   |   |
|  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆地域・学校・事業者・関係機関と連携した環境保全</li> <li>☆循環型社会の構築に向け、資源ごみのリサイクルを</li> <li>☆「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」を推</li> </ul>                                      |
|  |   | (8) 自然と都市機能が調和した都市空間をつくりま                                      |   |
|  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆道路や橋りょう等の計画的な維持管理のため、調</li> <li>☆災害時でも水が安定的に供給できるよう、災害時避</li> <li>☆公園施設長寿命化計画に則って計画的に公園施設</li> </ul>  |
|  |   | (9) 安全・安心が実感できるまちづくりを進めます                                      |   |
|  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆自然災害に対し、市民・地域・事業者・関係機関と</li> <li>☆「高浜市みんなで犯罪のないまちにしよう条例」に</li> <li>☆地域・警察・事業者・関係機関と連携し、特に自転</li> </ul>                                      |
|  |   | <b>Ⅳ</b><br><b>いつも笑顔で<br/>健やかに<br/>つながり<br/>100倍<br/>ひろげよう</b> | (10) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めま   |
|  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆生活困窮、介護、障がい、育児など、支援が必要な</li> <li>☆その人に合った暮らしを実現するため、地域の実情</li> <li>☆福祉サービスやふだんの生活を支えるための多様</li> </ul>                                       |
|  | (11) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します   |  |   |
|  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>☆生涯をとおして健康を意識し、生活の質を高めるた</li> <li>☆高齢者の居場所である「健康自生地」を応援すると</li> <li>☆疾病を早期に発見し、適切な治療が受けられる「か</li> </ul>                                      |

|  |
|--|
| <b>取り組みます！</b>   |
| 創出し、企業誘致を進めるとともに、既存企業の投資意欲を高める支援策を推進します。                         |
| 、ブランド化など、地場産業である三州瓦の優位性やデザイン性をPRするため、「高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例」を推進します。 |
| ト)を支援し、高浜市の産業を全国的にPRするなど、ビジネス手法を用いた若い世代の育成支援をします。                |
| 市のPRに対し人的支援、活動支援をします。  |
| 活動に取り組みます。   |
| 進め、ごみの減量化に取り組みます。  |
| 進し、環境美化活動を進めます。  |
| 査・点検を進め、改良や修繕を行います。  |
| 難所へ水道を供給する配水管を耐震管に布設替えるなど、耐震化を進めます。                              |
| の修繕を進めるとともに、地域の関係団体と協働で「緑のあるまちづくり」を進めます。                         |
| 「自助」「共助」「公助」の考えに基づく役割分担と相互の連携強化を図り、実践的な防災・減災活動に取り組みます。           |
| に基づき、地域・警察等で構成する高浜市防犯ネットワーク会議を軸に、犯罪抑止活動を推進します。                   |
| 車の運転マナーの向上、高齢者や子どもの交通事故防止に向けた取組みなど、交通安全対策を進めます。                  |
| <b>す</b>   |
| 人に対し、早期かつ包括的な相談支援を行い、各々の事情に応じた支援につなげます。                          |
| に応じて、福祉サービスや地域の支え合いの充実を図ります。                                     |
| な人材を養成します。   |
| めの健康づくり活動を応援します。   |
| ともに、担い手としての活躍の場を創出します。   |
| かりつけ医」を持つよう働きかけるとともに、地域医療の充実と医療と介護の連携を推進します。                     |